



こもろ・まちなねプロジェクト 令和3年効果検証（概要）

令和4年3月25日

小諸市都市計画課



官民連携まちなか再生推進事業「こもろ・まちたねプロジェクト」によるソーシャルグッド活動※の促進

※ソーシャルグッド活動とは、CSR事業とは違い、収益追求と社会貢献の両立を目指し、子育て、健康づくり、交流、市内産業の振興、生涯学習、コミュニティづくりなどを通じ、社会全体に良い影響を与える活動です。

1 プロジェクトの概要

- 小諸駅周辺地域では、多極ネットワーク型コンパクトシティのまちづくりによる、“居心地のよい、ひらかれた”新しい都市づくりを進めています（市総合計画 第11次基本計画）。
- その一環として、**公共空間等を活用したソーシャルグッド活動**の活性化を目指し、ソーシャルグッド活動の種を“まちたね”として、その支援を**社会実験として取り組む「こもろ・まちたねプロジェクト」**をスタートしました。
- 「こもろ・まちたねプロジェクト」は、URグループ（UR都市機構、(株)URリンケージ）と小諸市で事務局を担い、支援に取り組んできました。今後は、官民連携によるソーシャルグッド活動をさらに活性化させることを目的に、円滑な事業の推進に向け小諸駅周辺に係る公共インフラ等を有する事業者を中心に、情報の共有と発信、調整を行う開かれた場として「**まちたねプロジェクト連絡会議**」を設置しました。

■ 対象地域



■ プロジェクトの期間

令和3年から令和5年までの3年間

■ まちたねプロジェクト連絡会議 構成員

地域機関会員

小諸市

こもろ観光局

JRバス関東(株)

小諸商工会議所

しなの鉄道(株)

(株)まちづくり小諸

支援機関会員

UR都市機構

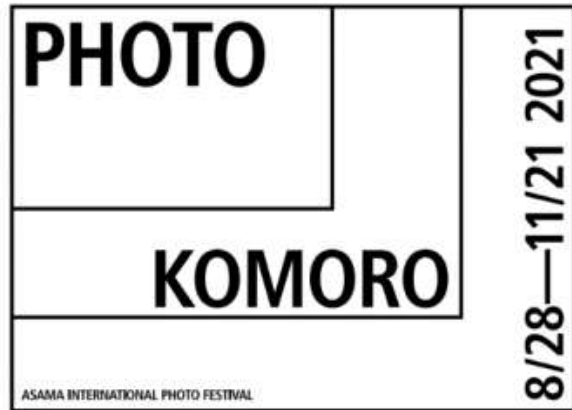
UDC信州(長野県)

(株)カクイチ

連絡会議のメンバーは随時増やしていきます。

2 令和3年度のまちたねプロジェクトの概要と関連事業、小諸駅周辺の来訪状況

① フォトコモロ (浅間国際フォトフェスティバル) 開催



国際的なアート写真を懐古園やほんまち町屋館、小諸駅などに屋外設置した、まちなか回遊型のアートイベント
 【会期】令和3年8月～11月

② スマートカート egg 試験走行



低速で開放的な電動車両・スマートカート eggによる、まちなか周遊型の試験走行
 【期間】令和3年4月～5月、9月～11月

③ 大手門公園・まちタネひろば社会実験



利用目的に合わせて、利用のルールを変える、新たな広場活用を試す社会実験
 【利用開始】令和3年10月

【関連事業】

島崎藤村「初恋」・懐古園を活用したミュージックビデオの作成、秋のスイーツめぐり、秋のこもろ市民まつりなど



小諸駅近接市営駐車場 駐車台数

(懐古園、小諸駅、大手門)

単位：台/月

	H30	R元	R2	R3
9月	8,359	11,532	10,426	9,064
10月	11,990	9,700	14,447	16,652
11月	15,761	19,486	21,037	24,956

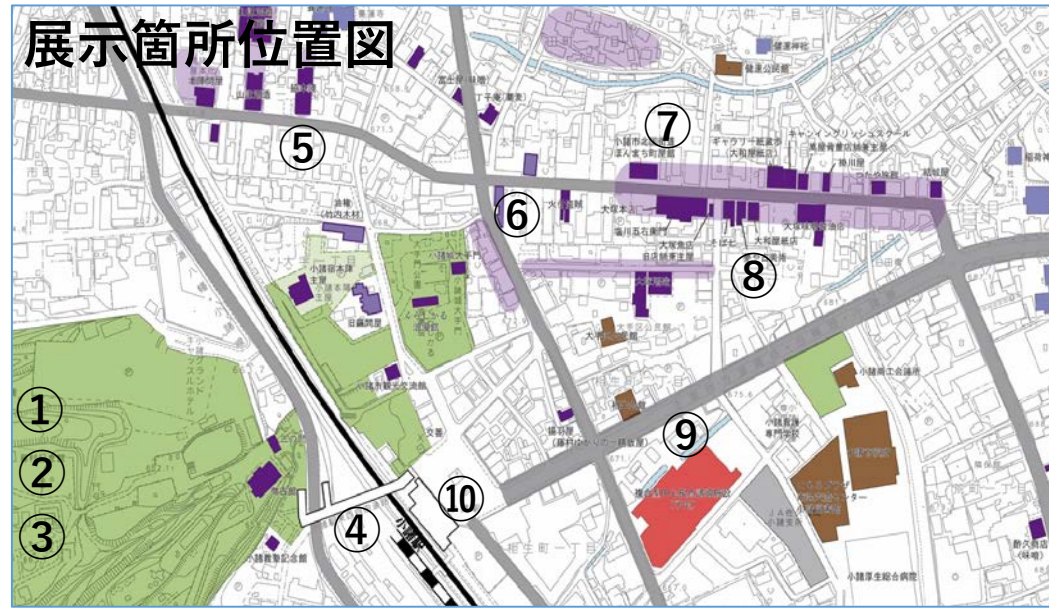
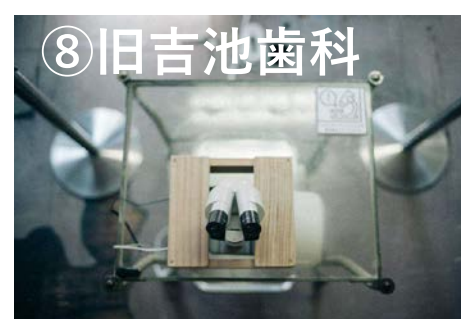
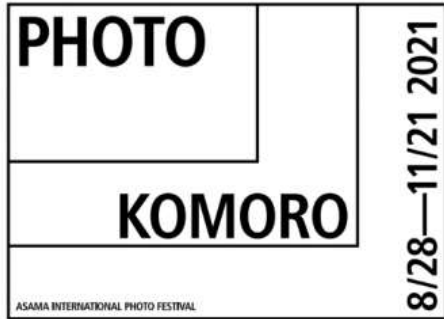
小諸駅 乗降者数

(しなの鉄道、JR小海線)

単位：人/月

	H30	R元	R2	R3
9月	283,968	296,095	216,723	212,724
10月	280,829	200,225	213,186	228,005
11月	274,009	216,337	220,408	236,126

3 フォトコモロ（浅間国際フォトフェスティバル）の開催概要



【社会実験のポイント】

- ❑ 公共空間等の連続的な利用
- ❑ 長期間の開催
- ❑ 屋外や空き家等の展示での非常駐管理（重点管理）

【主な指標】

- ❑ サイトアクセス数
実人数 4,690人が10,022回利用
- ❑ ガイドマップ配布数
22,000部（小諸駅、観光案内所等がメイン）

4 フォトコモロ（浅間国際フォトフェスティバル）で得られた知見（概要）

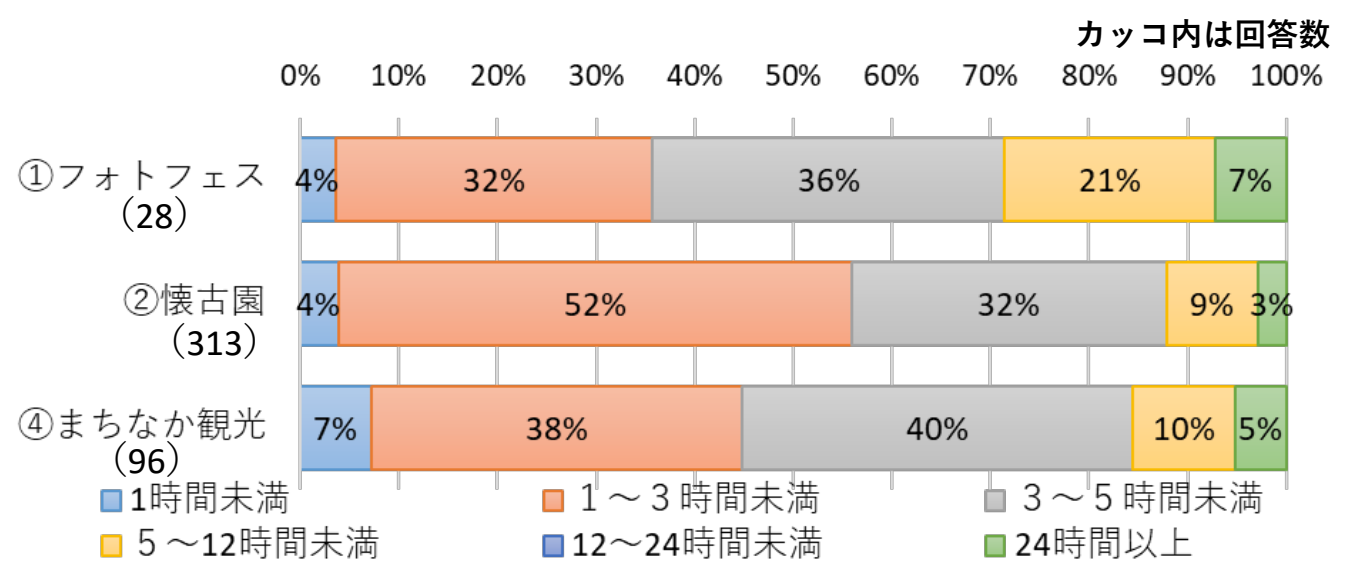
①来訪者向け アート作品の鑑賞のほか、“まちなかを廻って探す楽しみ”の提供が可能

【表】来訪目的別の気に入ったポイントランキング表

	①フォトフェス (49)	②懐古園 (199)	④まちなか観光 (66)
1位	街並み (14)	公園・庭 (50)	食 (19)
2位	懐古園 (10)	懐古園 (40)	懐古園 (17)
3位	歴史的な建物 (8)	歴史的な建物 (40)	街並み (13)
4位	その他 (7)	特にない (29)	公園・庭 (9)
5位	自然の風景 (4)	街並み (19)	自然の風景 (6)

カッコ内は回答数

出典：R3年9・10・11月来訪者インタビュー結果（UR都市機構）





【図】来訪目的別の小諸での滞在時間

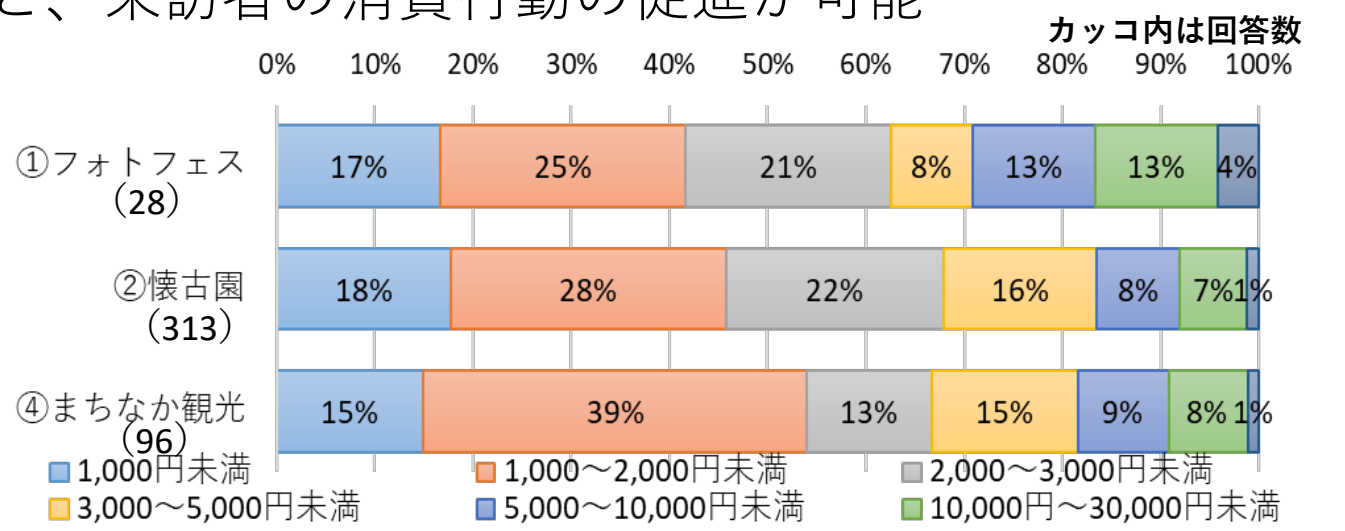
出典：R3年9・10・11月来訪者インタビュー結果（UR都市機構）

②主催者向け 施設管理者・所有者の理解のもと、非常駐型の管理であっても、大きなトラブルなく開催が可能

③波及効果 SNSによる小諸のまちなみの発信と、来訪者の消費行動の促進が可能

 インスタグラムでの#photokomoroによる発信 1,090件

 Twitterでの#photokomoroによる発信 113件



【図】来訪目的別の小諸での消費予定額

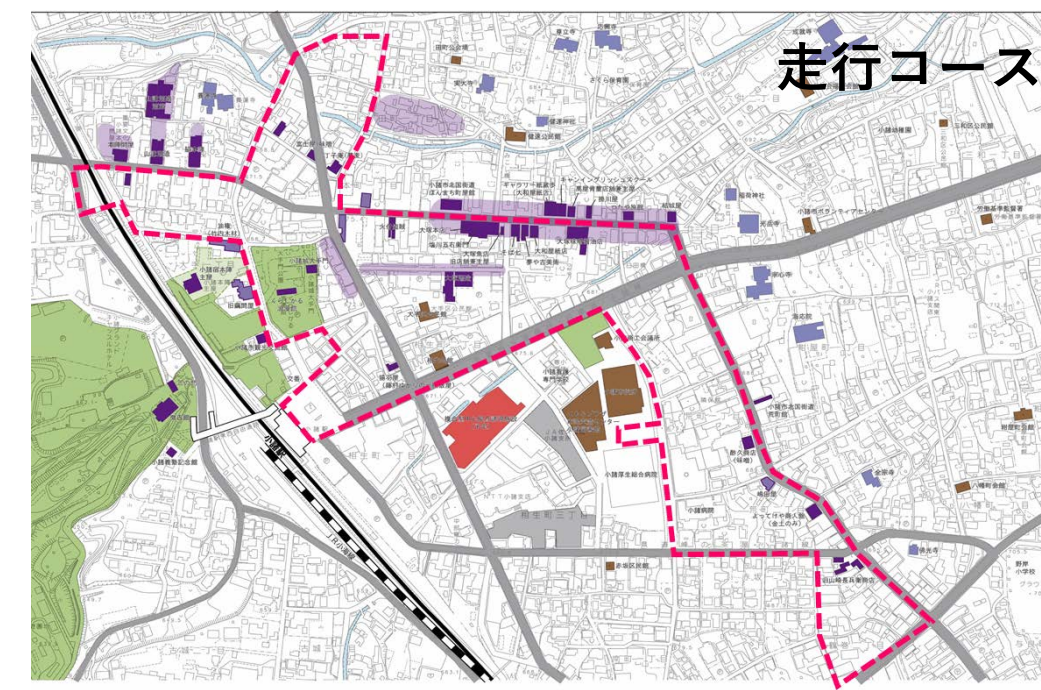
出典：R3年9・10・11月来訪者インタビュー結果（UR都市機構）

④今後に向けて 公共空間等の連続的・長期的な活用と非常駐型の管理が有効である一方、今回は実施できなかったが、来訪者と地域とのコミュニケーションが行える拠点づくりに工夫が必要

5 スマートカート egg 試験走行の概要



期間	令和3年9月10日から11月27日までの金曜と土曜
時間	午前11時から午後5時まで
車両	3輪電動カート3台
コース	小諸駅周辺1周3.5km
利用	専用乗車チケットもしくはウェブ上での利用登録

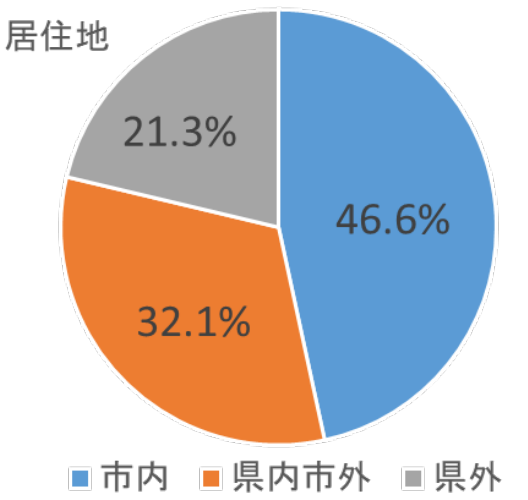
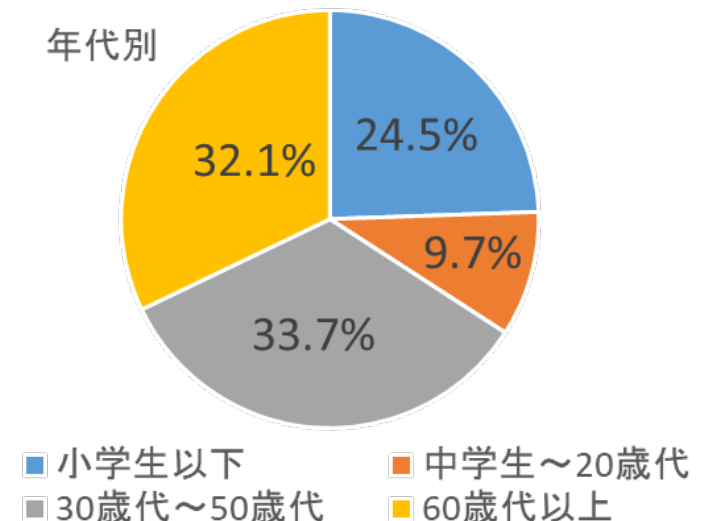
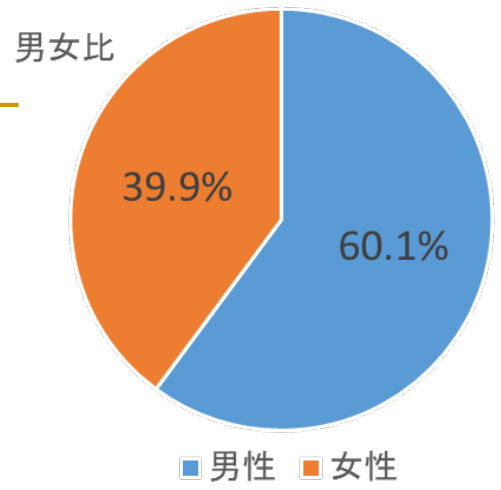


【試験走行のポイント】

- 1周15分のコースで、気軽にまちなみを楽しむことが可能
- 時速20kmの低速運行で、ドアのない開放的なデザインのため、まちの音・香り・景色を体感できるアトラクションとしての楽しさ
- 開放的なデザインのため、通行人、運転手との簡単なコミュニケーションを楽しむことが可能

【主な指標】

- 延べ利用者数
1,900人 (運行日数 19日)
- 曜日別平均利用者数
金曜日：59名 土曜日：130名

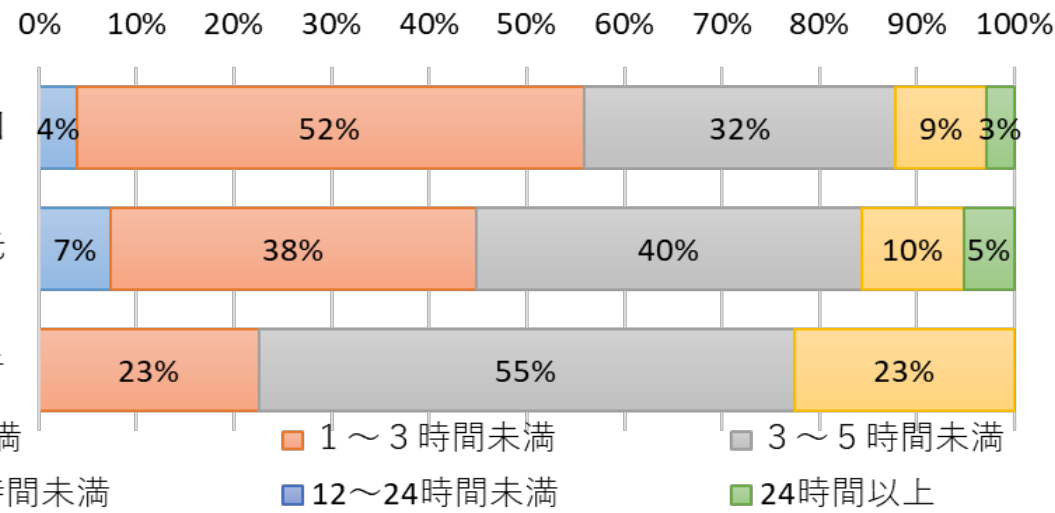


【図】 利用者の属性

6 スマートカート egg 試験走行で得られた知見（概要）

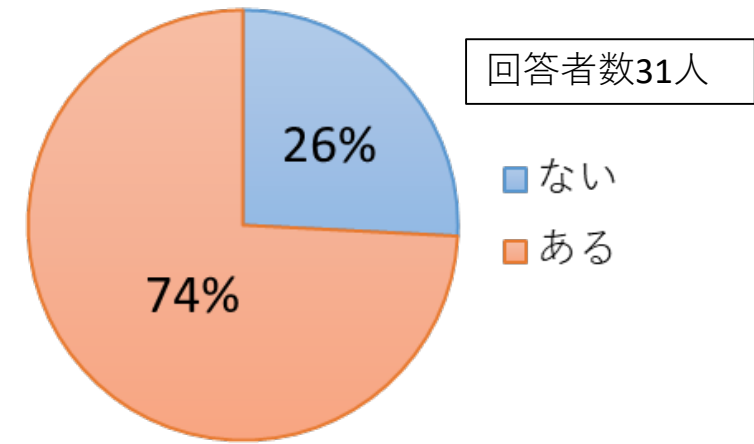
① 来訪者向け

カート乗車による楽しさのほか、“古くて新しい”まちなみを見る楽しみ、施設・お店を見つける楽しみの提供が可能



【図】 来訪目的別の小諸での滞留時間

出典：R3年9・10・11月来訪者インタビュー結果（UR都市機構）



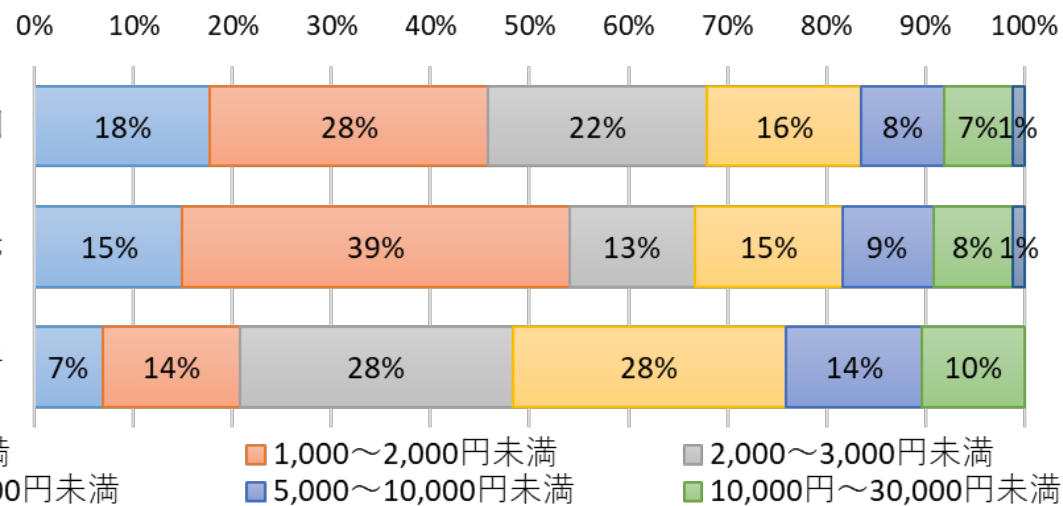
【図】 カート利用者のうち新しい施設・お店を知った人の割合

② 主催者向け

事故・クレーム等がなく、現時点では、周遊型のカート運行の適性が高い。

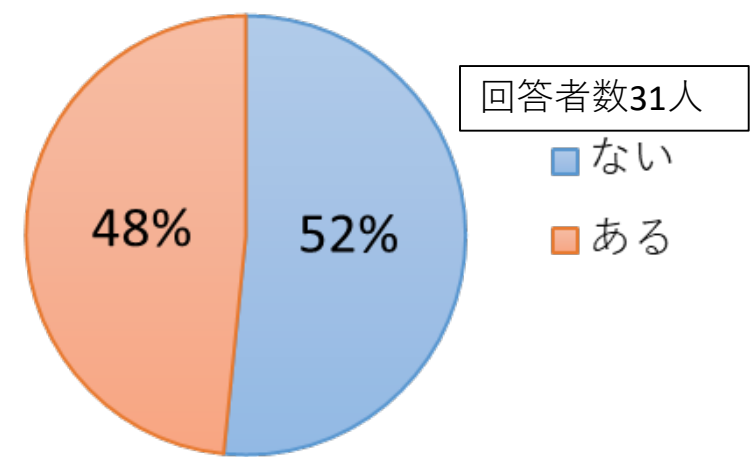
③ 波及効果

来訪者に気になった施設・お店へ行ってもらうことで、まちなかでの回遊・滞留を促すことが可能



【図】 来訪目的別の小諸での消費予定額

出典：R3年9・10・11月来訪者インタビュー結果（UR都市機構）



【図】 カート利用者で新しい施設・お店を知った人のうち実際に行く予定のある人の割合

④ 今後に向けて

運行期間の集中による試験走行の効率化、利用者のSNS等による情報発信の仕掛け、利用者への施設・お店の情報認知の仕組みづくりの検討

7 大手門公園・まちタネひろば社会実験のまとめ



【特徴】

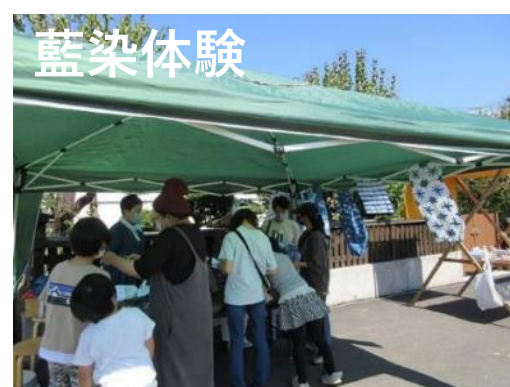
- イベント等の利用方法によって、試行しながら、広場の使い方のルールを検討
- ソーシャルグッド活動につながるイベントづくりを、構想段階から実施まで、伴走型で支援を行う。
- 小諸駅・懐古園に近接した立地を活かした広場利用

親子やきいも大会 (R3年11月23日、12月19日)



【開催支援した主なイベント】

合同プレイスメイキング社会実験(R3年10月2・3日)



朝の環 (10月2日、11月6日、12月4日)



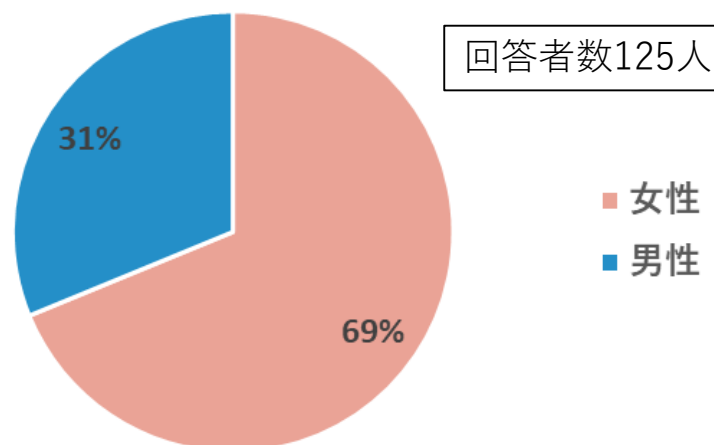
Train&Bus Kids EVENT (R3年11月28日)



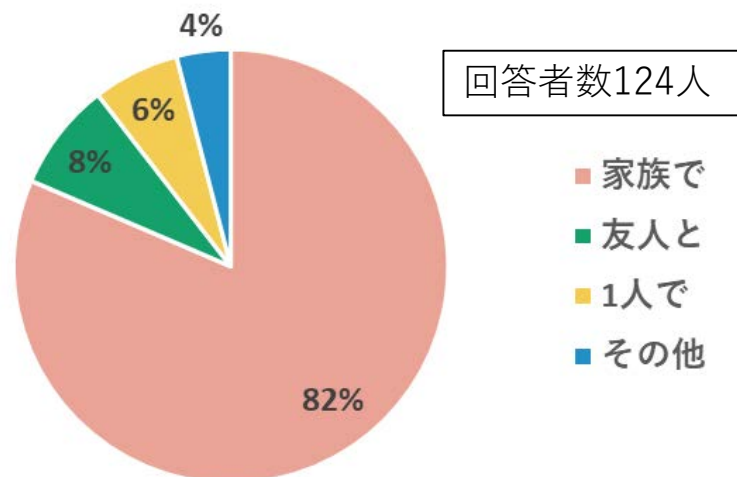
8 大手門公園・まちタネひろば社会実験で得られた知見（概要）

① 来訪者向け

野外での多様な体験を通して、家族、特に子どもと楽しく、ゆっくりと過ごす機会の提供が可能



【図】来訪者インタビュー回答者の性別
(R3年10月2・3日 合同プレイスメイキング社会実験)



【図】来訪者の構成
(R3年10月2・3日 合同プレイスメイキング社会実験)

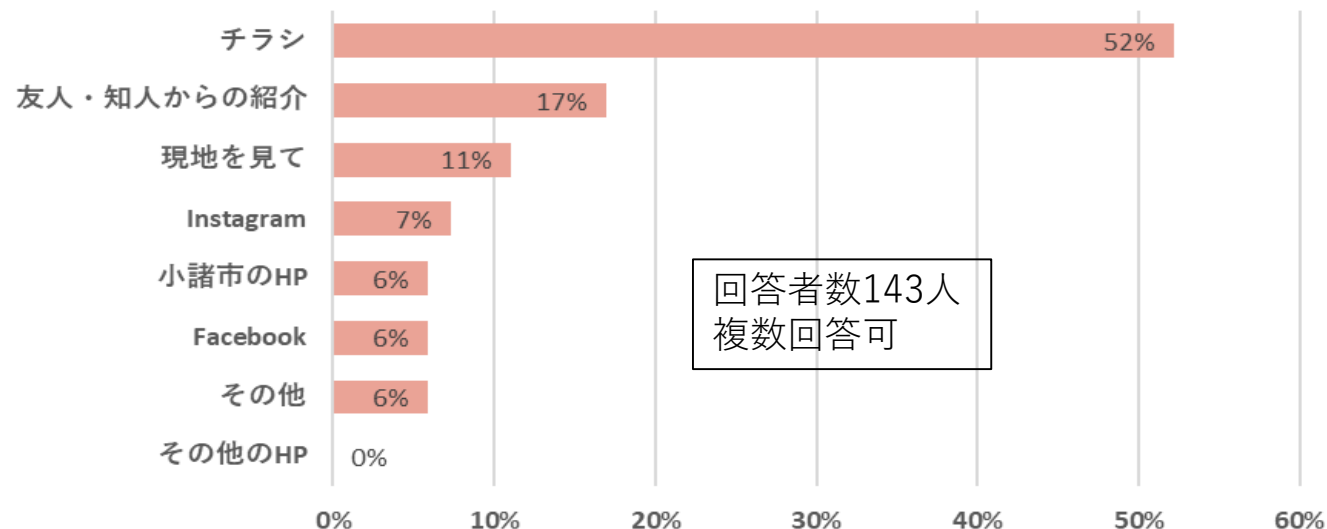


② 主催者向け

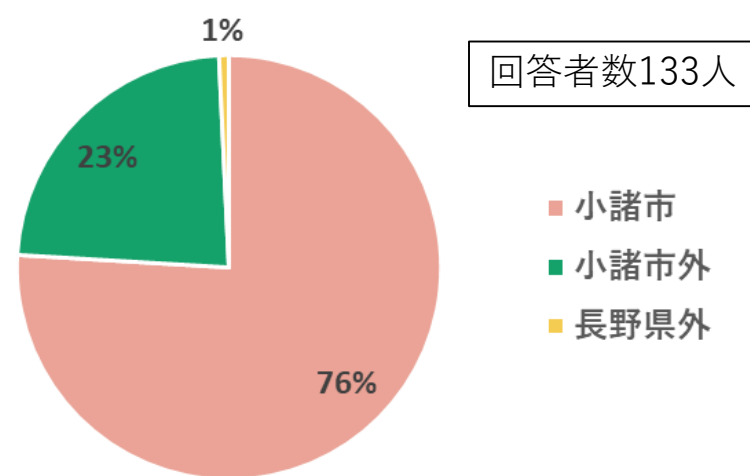
自分のやりたかったイベントの実現と知ってもらう機会の提供が可能

③ 波及効果

家族連れによる、こもテラスや図書館など周辺の施設・店舗への回遊の促進が可能



【図】来訪者のイベント認知のきっかけ
(R3年10月2・3日 合同プレイスメイキング社会実験)



【図】来訪者の居住地
(R3年10月2・3日 合同プレイスメイキング社会実験)

④ 今後に向けて

伴走型のイベント開催支援による「まちタネひろば」の認知拡大、イベントの作り方の見える化やルールブックづくりなど支援の種類を増やすこと

9 R4年度の事業予定

1 まちなかポップアップ&ゴーDX社会実験



【予算】 R3年度 中心拠点形成促進事業（繰越）調査等委託料
R4年度 中心拠点形成促進事業調査等委託料

【概要】 情報発信と公共交通のパッケージ化されたサービス提供

2 駅前広場・大手門公園の一体的な活用と駅前広場のあり方検討



【予算】 R3年度（3月定例会補正） 中心拠点形成促進事業 業務委託料

【概要】 ①駅前広場・自動車ゾーン一部での歩行者空間活用の社会実験

（例）歩行者の回遊・滞留のための動線づくり など

②小諸駅の立地を活用した、多様な交流の創出

（例）学ぶ側・教える側双方が参加できる体験・学習活動への支援 など

③駅前広場の将来イメージ案の検討

（例）事業活動や社会活動、日常生活活動における駅前広場の活用検討 など



3 大手門公園・まちタネ広場のプレイスメイキング社会実験、交付金実績報告・次期計画作成



【予算】 R4年度中心拠点形成促進事業 業務委託料

【概要】 ① まちタネ広場での伴走型のイベント開催支援の継続と、地域資源（農産物や伝統・文化等）を活用したイベント開催の支援検討

② 小諸駅周辺の国土交通省都市局の交付金実績報告と次期計画作成



10 参考資料 まちなかインタビュー概要①

- 調査日 R3.9/20、11/7、11/13 (カートのみ)
- 調査箇所 懐古園三の門近辺、大手門公園、停車場ガーデン、相生町R141交差点
- 対象者数 9/20 : 186名、11/7 : 245名、11/13 : 31名 (カートのみ)

回遊場所 (エリア) 模式図

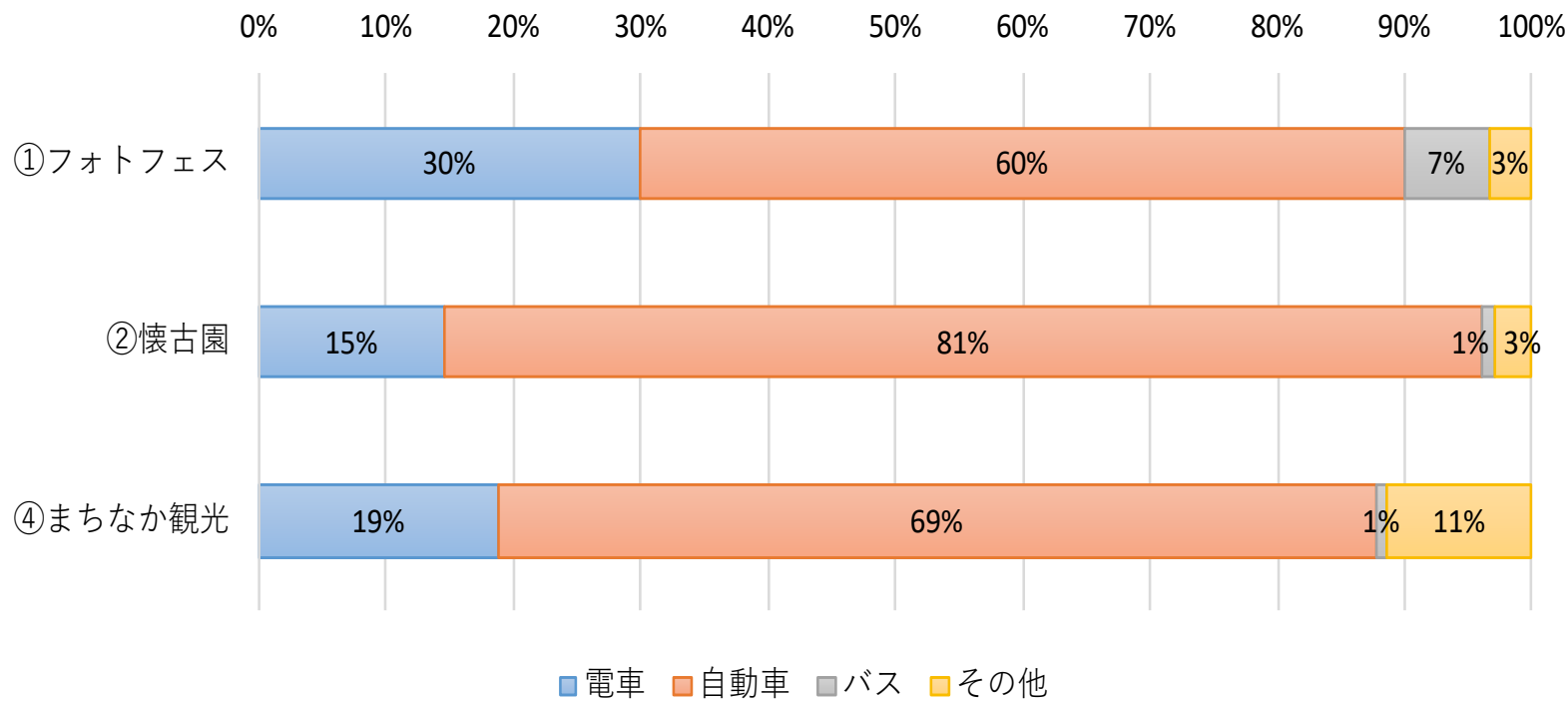


【表】居住地ランキング

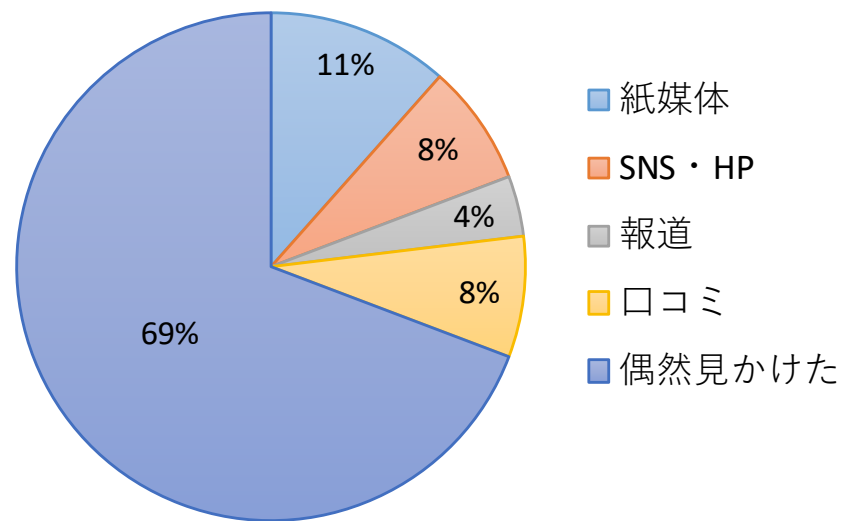
1位	市内	52人
2位	東京都	50人
3位	上田市	48人
4位	埼玉県	46人
5位	佐久市	41人
6位	長野市	34人
7位	群馬県	23人
8位	松本市	18人
9位	神奈川県	18人
10位	軽井沢町	8人
11位	静岡県	7人
12位	御代田町	5人
13位	安曇野市 須坂市 千曲市	各4人

11 参考資料 まちなかインタビュー概要②

市内の目的地×交通手段



egg認知方法



【表】居住地別電車移動ランキング

1位	東京都	22名
2位	長野市	10名
3位	上田市	9名
4位	佐久市	6名
5位	埼玉県	5名
6位	市内 神奈川県 神奈川県 神奈川県	4名
7位	茨城県 群馬県 山梨県 大阪府 大田町	各2名

まちなかポップアップ&ゴーD X 社会実験 令和4年度の取組について

1 社会実験の概要

市内外での情報認知を広げ、“ヒト”と小諸の“コト”と“モノ”を結びつける以下のサービスの提供により、小諸の古くて、新しいまちなかを、“知って、巡って、笑顔になる”社会実験を始めます。

1) サービスの特徴

① 連携型情報発信サービス 「縁JOY!小諸」

② 公共交通の新しい利用のカタチ



こもろTouch タッチ

公共空間※¹に設置された直感的なタッチ操作が可能な屋外デジタルサイネージにより、まちかどで、おもてなし情報を映像でお伝えするタッチ型サービス

※¹ 小諸駅前、懐古園、こもテラス



縁JOY!小諸
ポータル

小諸での過ごし方や楽しみ方の“タネ”となる、施設や店舗・イベントの詳細情報の提供と、SNSの投稿との連携により、ヒト・コト・モノの出会いを彩る、新たな情報発信型のウェブサイト



信州こもろこま〜す

施設や店舗までの経路検索や周辺施設情報の検索に加え、しなの鉄道1日乗車券とEVバスによる「こもろ周遊チケット」の電子切符を、スマホで購入できる地図情報型MaaSアプリ



EVバス・こもこむ号※²

旧北国街道・小諸宿のまちめぐりを20分おきに周遊するほか、小諸駅と布引観音やジオヒルズワイナリーなどを結び、季節や自然の見どころへ案内する、乗り降りラクラクなEVバスを運行



スマートカート-egg※²

小諸駅や旧北国街道、市庁舎周辺を15分で周遊し、古くて、新しいまちなかを肌で感じられる開放型の低速電気カートを運行



しなの鉄道1日フリー乗車電子切符

MaaSアプリ「信州こもろこま〜す」により、しなの鉄道の軽井沢ー小諸間と、上田・小諸間の1日フリー乗車券を電子切符化し提供

※² MaaSアプリより電子乗車券「こもろ周遊チケット」を発券

2) 令和3年度までの実施状況及び機能連携の概要

● デジタルサイネージの設置、運用

こもろTouch



● ポータルサイトの開設

縁JOY!小諸
ポータル

QRコードによる誘導



情報の相互リンク

● MaaSアプリの開設、リリース

信州こもろ こま〜す



電子チケットの発券

● 人流解析カメラの設置



- ・ 軽井沢ー小諸間、上田ー小諸間の1日フリー乗車券の電子切符化
- ・ EVバス こもこむ号の1日フリー乗車券「こもろ周遊チケット」の発券
- ・ スマートカートの利用登録 (利用無料)

